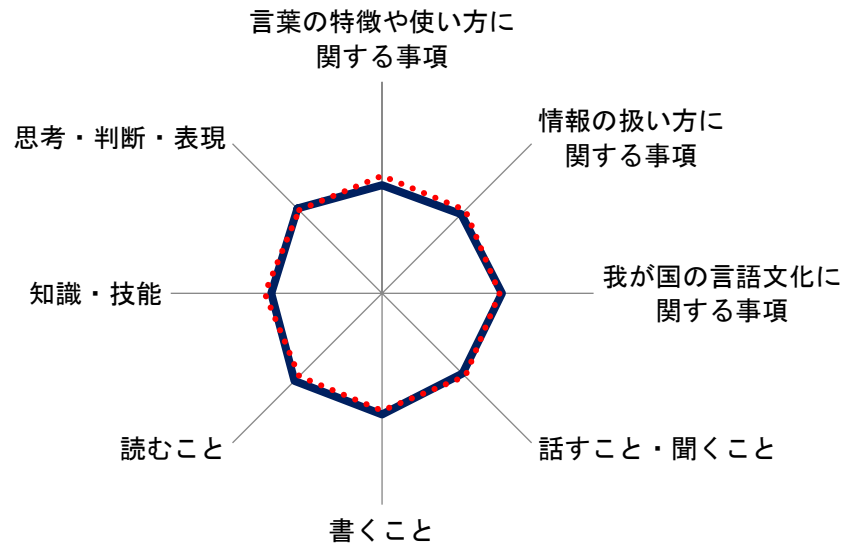


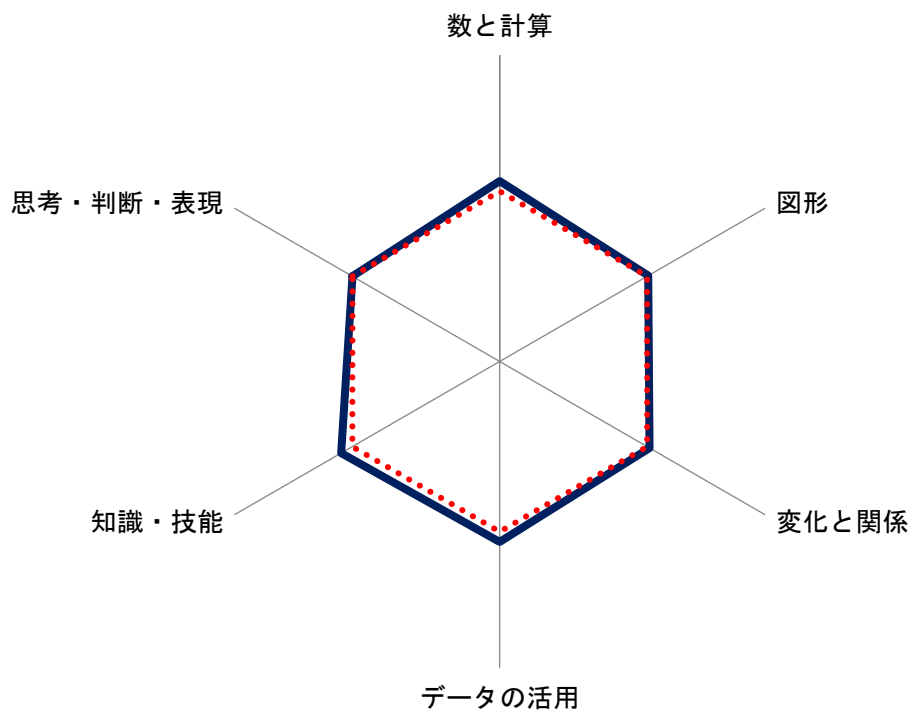
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

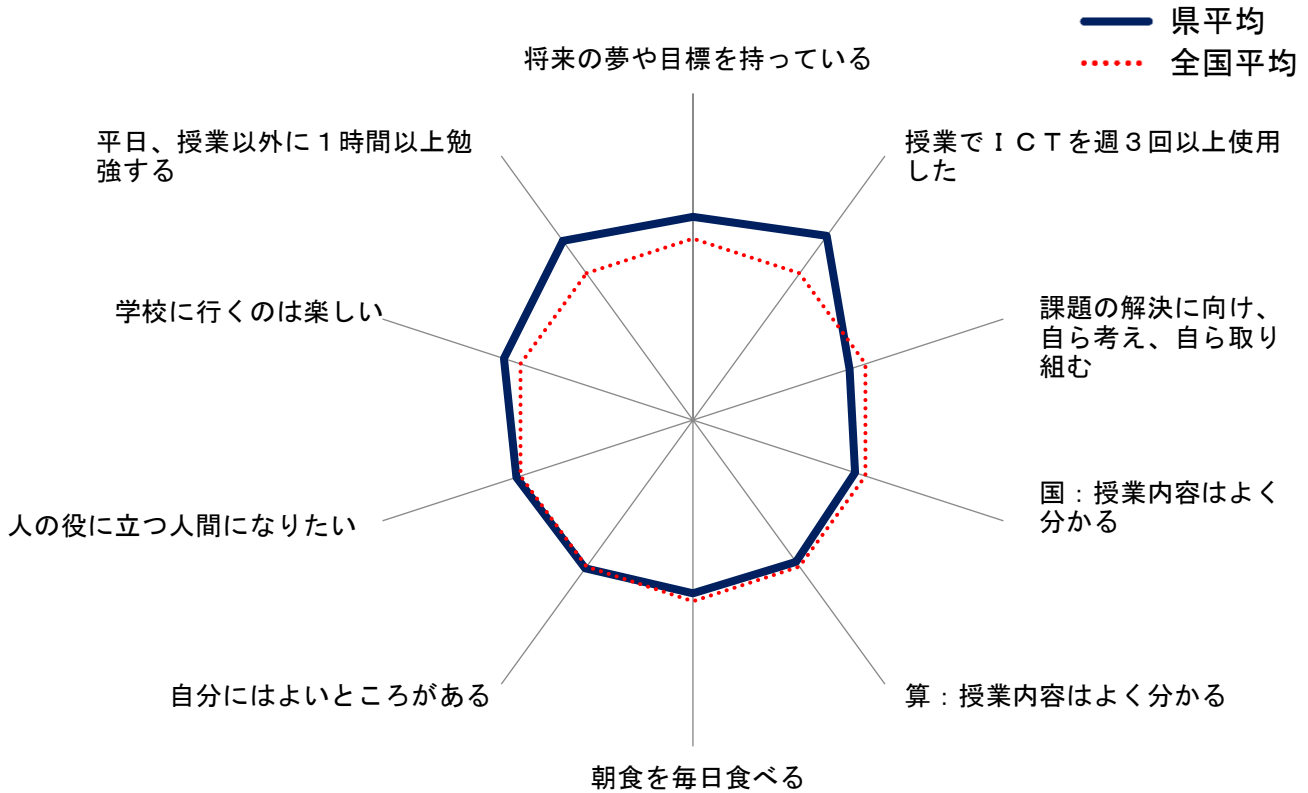
— 県平均
..... 全国平均



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は全ての項目で全国平均とほぼ同じかやや上回っており、特に、昨年度全国平均を下回っていた「知識・技能」の項目が全国平均を上回り、改善が見られる。一方、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育のベストミックスを図るとともに、読解力の育成など、本県の学びの課題克服に引き続き取り組むことで、更なる学校教育の質の保証・向上を目指していく必要がある。

児童質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、良好な結果が続いている。また、「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目は、全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目は前回調査に引き続き全国平均を下回っており、課題である。今後も、子供たちが主体的に学習に取り組み、児童にとって「分かる、できる」を実感できる授業になるよう、目標と指導と評価の一体化を図った更なる授業改善が必要である。